

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2016年4月21日～2016年4月27日)

平成 28 年(2016 年)4 月 28 日

H E A D L I N E S

政治

憲法法廷問題を巡る動き
 シドゥウォ首相, 米国を訪問
 ヴァシチコフスキ外相, 「V4+NB8」外相会合に出席
 ドゥダ大統領, スロベニア大統領と会談
 6月のバルトトップス演習へポーランド空軍, 海軍が参加
 参謀本部年次会議開催
 ヴァシチコフスキ外相, 中国を訪問
 ドゥダ大統領, ポルトガルを訪問

経済

児童手当は外国人居住者にも支給
 ポーランド開発基金のCEO任命
 児童手当の人口増効果
 ポーランド, 独, 仏の産業担当大臣等が「再工業化」を議論
 3月の失業率は10%
 大統領が農地売買を規制する法律に署名, 発効へ
 LOT, 中国の出資を模索
 木材加工品の輸出でポーランドが欧州第一位
 ポーランド, パリ協定に署名
 ポーランド鉱業グループへの出資調印式

大使館からのお知らせ

在外選挙に関するご案内
 伊勢志摩サミットに伴う警備強化に関する御協力をお願い
 パスポートダウンロード申請書のご案内
 海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ
 大使館広報文化センター開館時間
 文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696
 5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内政

憲法法廷問題を巡る動き【25日～27日】

25日、ワレサ元大統領、クファシニエフスキ元大統領及びコモロフスキ前大統領他は、政府が憲法法廷問題を巡る対立を激化させていると批判すると同時に、憲法及び法秩序の遵守、野党結束及び市民団体・民主主義擁護委員会(KOD)の活動の重要性等を訴える公開書簡を発出した。

26日、最高裁判所の判事総会が開かれ、昨年12月の憲法法廷に関する法改正が違憲であるとの憲

法法廷判決が政府によって官報に掲載されていない現状を懸念すると共に、憲法法廷の違憲判決が官報に掲載されてなくとも同判決が対象となる法律の合憲性が差し止められているとの認識を示す特別決議を採択した。27日、マギエロフスキ大統領府報道官は、最高裁判所判事による特別決議は憲法法廷を巡る対立を激化させるものである旨述べ、批判的な姿勢を示した。

外交・安全保障

シドゥウォ首相、米国を訪問【21日～23日】

21日～23日、シドゥウォ首相は米国を訪問し、22日に昨年11月のCOP21の合意内容であるパリ協定の署名式に出席した。シドゥウォ首相は、パリ協定は各国の経済の特質に配慮したものでありポーランドにとって良い協定である旨述べた。同日、シドゥウォ首相は潘基文国連事務総長との会談し、主にウクライナ情勢、中東情勢、気候変動問題、等につき意見交換した。この他、同首相は、米国滞在中、ニューヨーク証券取引所訪問、在留ポーランド人との面会等を行った。

ヴァシチコフスキ外相、「V4+NB8」外相会合に出席【21日】

22日、ヴァシチコフスキ外相は、ラトビアにて開催されたV4(ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリー)及びNB8(北欧及びバルト8カ国)の外相会合に出席し、主にEUが直面している課題、安全保障情勢、エネルギー安全保障、東方パートナーシップにつき意見交換した。同外相は、NATOの東方強化は今国会合に出席している全ての国の国益に資する旨述べた。

ドゥダ大統領、スロベニア大統領と会談【22日】

22日、ドゥダ大統領は、ワルシャワを訪問中のパホル・スロベニア大統領と会談し、主にNATOワルシャワ首脳会合、二国間経済関係、両国をつなぐ交通及びエネルギー・インフラの整備、移民・難民問題、対ロシア関係及びバルカン情勢につき意見交換した。ドゥダ大統領は、我々は共にNATOの強化、NATOの東方及び南方におけるプレゼンスの強化の必要性につき共通の見方を有している旨述べた。

6月のバルトトップス演習へポーランド空軍、海軍が参加【22日】

19日～21日まで、ポーランド軍は、エストニアで開催された第44回バルトトップス演習(Baltops)の調整会議に参加した。その結果、潜水艦、戦闘機、偵

察機等を6月の演習に参加させることになった。

バルトトップス演習(Baltops)は、4千人以上の参加規模のバルト海で最大のNATOの演習である。

参謀本部年次会議開催【25日】

25日、国防省において、参謀本部年次会議が開催され、ドゥダ大統領、シドゥウォ首相、マチェレヴィチ国防大臣、参謀本部長等が出席し、過去1年間の業績と、今後1年の業務等を議題に行われた。

会議終了後の会見で、ポーランドの安全保障と国民の安全を最優先すること、軍の装備は技術移転を通じた国産を追求すること、領域防衛旅団の概念を決定したことが発表された。

ヴァシチコフスキ外相、中国を訪問【25日～27日】

25日～27日、ヴァシチコフスキ外相が中国を訪問し、26日に北京にて王毅外交部長、李源潮副主席及び徐紹史発展改革委員会主任と会談した。各会談では、二国間の戦略的パートナーシップ、経済関係、インフラ計画における協力可能性、地方自治体協力、中欧・中国間の「16+1」協力及び国際的な諸課題等につき意見交換が行われた。ヴァシチコフスキ外相は、ポーランドは、中国企業が国内の道路、高速鉄道及び空港の建設、港湾施設の近代化に参入することに関心を有している旨述べると共に、直近の数ヶ月以内に習近平中国主席がポーランドを訪問予定であることを明かした。

ドゥダ大統領、ポルトガルを訪問【26日・27日】

26日及び27日、ドゥダ大統領はポルトガルを訪問し、27日にソウザ大統領及びコスタ首相との間で主に7月のNATOワルシャワ首脳会合につき意見交換した。ドゥダ大統領は、EU及びNATOは最も困難な問題に対し結束して対応しなければならない、ポルトガル首脳にNATOの東方強化の必要性につき理解を得た、自分も同様にNATOの南方情勢を理解している旨述べた。

経 済

経済政策

児童手当は外国人居住者にも支給【21日】

家族・労働・社会政策副大臣は21日、今日1日に導入された児童手当はポーランドで働く外国人居住者世帯にも支給されると発言。本手当により、270万世帯370万人の児童が裨益する見込み。

ポーランド開発基金のCEO任命【25日】

モラヴィエツキ・プランのにより設立された基金「ポーランド開発基金」の役員会は、初代CEOとして、PKO銀行のPawel Borys氏を任命した。同氏は、PK

O銀行CEOの顧問の後、2015年11月から開発投資局長を務めている。

児童手当の人口増効果【26日】

ポーランド政府人口評議会は、児童手当の導入により、人口減のペースが弱まり、2050年には3,400万人まで減少すると予測されている人口を3,570万人に維持されるとの報告書を発表した。2030年半ばより出生率の増を見込んでいる。

マクロ経済動向・統計

ポーランド、独、仏の産業担当大臣等が「再工業化」を議論【22日】

欧州各国の産業担当閣僚を招いた Friends of Industry 会合がヴィラヌフ宮殿で開催された。会合にはモラヴィエツキ副首相兼経済開発大臣、ガブリエル独連邦経済エネルギー大臣、マクロン仏経済・産業・デジタル大臣等が参加した。特に、ポーランド・独・仏の三国間のワイマール・トライアングルでの協力が順調に機能していることや再工業化によるさらなる競争力の強化の可能性等を議論した。

3月の失業率は10%【25日】

中央統計局(GUS)によれば、3月の失業率は対前年同月比10%で、2月の対前年同月比10.3%よりやや減少し、登録失業者数は160万人となった。なお26日の報道では、ラファルスカ家族・労働・社会

政策大臣が4月の失業率は一桁台になる見込みと発言している。

大統領が農地売買を規制する法律に署名、発効へ【26日】

ドゥダ大統領は、農業用国有地の売買制限や個人間の農地売買への新たな条件の追加を含む法律に署名した。新規制においては国有農地は一部の例外を除いて今後5年間売却禁止となるほか、個人間では土地の広さや購入者の居住年数等が条件となる。農業不動産庁(Agricultural Property Agency)は、農地の優先購入ができる。政府は、新法について投機的な農地の売買を防ぐことを目的としており、他の西欧各国の規制をモデルに作られたものだとしている。新法は4月30日に発効する。

ポーランド産業動向

LOT、中国の出資を模索【22日】

国有財産副大臣によれば、24日からの外務大臣等訪中で、中国の航空関係者と意見交換を行い投資を募る予定であり、ポーランドと中国による合弁事業の可能性も排除されないとしている。

木材加工品の輸出でポーランドが欧州第一位【25日】

2015年の欧州域内への木材加工品の輸出は、ポーランドがイタリア・ドイツを抜いて第一位となった。輸出総額は対前年比13%増の15億ユーロ。木製窓枠、木製ドア等計2,120万件を越える木材加工製品の内、木材を実際に使っているのは24%で、75%はプラスチック製。

エネルギー・環境

ポーランド、パリ協定に署名【22日】

シドゥオ首相は、22日にニューヨークの国連本部において昨年12月のCOP21で採択された、2020年以降の気候変動にかかる国際枠組みであるパリ協定のハイレベル署名式に参加し、署名した。我が国を含む175の国と地域が署名した。

ポーランド鉱業グループへの出資調印式【26日】

経営再建中のコンパニア・ヴェングロヴァ社(KW)の新組織となるポーランド鉱業グループ(PGG)の設立に関し、シドゥオ首相やトフジェフスキ・エネルギー大臣等の立ち会いの下、出資企業による調印式が

行われた。PGE, Energa, PGNiG, Weglokoks 等のエネルギー・電力関係企業やPKO銀行, 政府系のBGK, ザホドニWBK銀行等の金融機関が出資者とな

っている。総額24.2億ズロチが出資されるという。PGGは5月1日より事業を開始する。

大使館からのお知らせ

在外選挙に関するご案内

在ポーランド大使館より, 在外選挙制度に関するご案内をします。在外選挙人名簿への登録手続には一定期間を要しますところ, お早めにお手続き願います。

1. 公職選挙法の改正により, 本年6月19日以降初めて行われる国政選挙から, 投票に際しての選挙権年齢が「満18歳以上」に引き下げられます。
2. 海外からの投票には, あらかじめ国内最終住所地等の在外選挙人名簿に登録をし, 在外選挙人証を取得しておくことが必要です。
3. 本年夏には参議院選挙が予定されております。年齢満18歳以上(本年6月19日現在で満18歳となる方も含む)で在外選挙人証をお持ちでない方は, お早めに当館にて手続き願います。
4. 在外選挙人名簿の登録資格や申請に必要な書類等につきましては, 当館ホームページ (http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j_zaigai.html) をご覧いただくか, 当館領事部宛へお問い合わせください。

伊勢志摩サミットに伴う警備強化に関する御協力をお願い

5月26日から27日までの間, 伊勢志摩サミットが, また, 4月10日から9月25日までの間, 関連会合が日本各地で開催されるため, 昨今の情勢を踏まえ, テロ等を未然に防止するため日本国内において警備諸対策が推進されています。これに伴い, 首脳会議が開催される5月26日及び27日を含む5月16日から5月29日までの二週間を「特別警戒期間」に指定し, 警備を一層強化すること致しますので, 皆様方におかれましてはご理解と御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

パスポートダウンロード申請書のご案内

本年1月4日から, パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は, ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし, 必要事項を入力・印刷することで, パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは, 下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ

当館ホームページにおきまして, テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願い」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは, 日本関連行事や各種展示のほか, マンガコーナーを含む書籍の閲覧, 本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584-73 00, Eメール:

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事

【開催中】現代日本の工芸展【3月1日(火)～5月15日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、国際交流基金巡回展「現代日本の工芸展」が開催中です。
開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26
詳細: <http://manggha.pl/exhibition/64>

【開催中】日本人形展【3月20日(日)～6月26日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本人形展が開催中です。
開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26
詳細: <http://manggha.pl/>

【開催中】俳画展【4月18日(月)～5月6日(月)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、写真家トマシ・ブジアク氏及び俳人ロベルト・カニア氏による共作俳画を展示中です。入場無料。
開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 -584 -73 00, E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】アイスホッケー世界選手権大会【4月23日(土)～29日(金)】

アイスホッケー日本代表チームがポーランドのカトヴィツェで開催される「2016IIHF 世界選手権ディビジョン I グループ A」に出場しています。
日程: 4月23日～29日
場所: カトヴィツェ市 Spodek Arena
対戦国: 日本, イタリア, オーストリア, スロベニア, ポーランド, 韓国
試合対戦日程: <https://jihf.or.jp/game/detail.php?id=236>
チケット情報: <https://pzhltv.ebilet.pl/szukaj.php?t=o&oid=1139>

【予定】盆栽トリエンナーレ【4月30日(土)～5月1日(日)】

ヴロツワフ市にて、ポーランド日本親善友好財団「波」主催による『盆栽トリエンナーレ』が開催されます。盆栽の展覧会、ワークショップ等が予定されています。
開催場所: ドルノシロンスキエ県, ヴロツワフ市, ul. Wystawowa 1
詳細: <http://fundacja-nami.pl/triennale-bonsai-polish.html>

【予定】日本フェスティバル 花見2016【5月8日(土)】

ワルシャワ市にて、「ラクガク」日本語学校主催による『日本フェスティバル 花見2016』が開催されます。お花見のほか、武道デモンストレーション、日本の伝統的な音楽、日本舞踊、様々なワークショップ、コンクール等が予定されています。
開催場所: マゾフシエ県, ワルシャワ市, ポレ・モコトフスキエ公園
詳細: <http://rakugaku.pl>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。
在ポーランド日本国大使館 newsmail@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)